

図書館はこう使う！

—あなたの人生に影響をあたえる本が、図書館にはあります—



図書館でできること

本が読めます

当たり前ですが、本学図書館の蔵書およそ8万冊の図書を全部読んでもタダ。教科書代が意外にかかったと、お嘆きの方、借りられるものは借りてすませましょう。専門書はけっこう高価です。

1度に10冊まで借りられます。今日5冊借りて次の日も5冊借りる、というのももちろんOKです。

雑誌が読めます

当たり前ですが、本学図書館で購読している200タイトルもの雑誌を全部読んでもタダ。学術雑誌はほぼ永久保存ですので、バックナンバーも揃っています。最新号以外は借りられます。

本館には、看護学系・児童学科系・教職系の専門雑誌と、一般教養雑誌があります。

分館には、栄養学系・社会福祉系の専門雑誌があります。

購読雑誌一覧が、図書館ホームページにあります。（「所蔵資料」→「購入雑誌一覧」）



気分転換に読める軽いものでは

『スロウ』北海道発！地域情報雑誌です。道外からお越しの方には特におすすめ！

『うかたま』なごみ系食べものの雑誌です。

『考える人』“自分の頭で考える”をモットーにした評論・エッセイなどの雑誌です。

そのほか各出版社が刊行している小冊子なども置いてあります。

ファッション雑誌・大衆向け一般週刊誌などは残念ながらありませんので、市立図書館へ行ってください。

マンガが読めます

実は、ちょっとだけ、マンガがあります。みなさんの将来の仕事に関連したものをセレクト。

【本館】『おたんこナース』『うちの3姉妹』『ひなちゃんの日常』『天使のたまご』『夜回り先生』

『君の手がささやいている』『花のズボラ飯』『コウノドリ』『ちいさいひと』など

【分館】『ヘルプマン』『玄米せんせいの弁当箱』『介護のオシゴト』『深夜食堂』『きのう何食べた？』

『光とともに』『スマイル!! 介護士物語』『聲の形』『ホスピ+めし』など

ちょっとした空き時間にどうぞ！

新聞が読めます

新聞、取っていますか？ 図書館では、全国紙、北海道新聞、地元紙、専門紙を各種購読しています。

【本館】朝日新聞・毎日新聞・北海道新聞・日本経済新聞・名寄新聞・北都新聞・日本教育新聞

【分館】読売新聞・産経新聞・福祉新聞・日本農業新聞・Fonte

また、テーマごとに記事をクリッピングした雑誌（『切抜き速報〇〇版』など）や、当館で独自に収集した記事ファイルもあります。

新聞を読むだけでも、就活の準備になりますよ。

チラシが読めます

新聞があるのだから、もちろん折込みチラシもあります。自炊派にとって特売品の情報は、重要ですよね。

クーポン券もどうぞご利用ください。

調べものができます

これぞ、図書館ならではの機能です！ いまどき、なんでもネットで調べられる、なんて思っていないませんか？ ネット情報は玉石混交、突然消えてしまうものさえありますね。まずは百科事典や用語辞典で調べる、専門事典

で更に調べるなどというスタートが大切です。また、出版ルートには乗らない冊子、非売品の書籍なども役に立つ場合があります。

映画が見られます

本館には、AVブースがあります（3人分）。映画のDVD、学習用DVD・VHSなどを見ることができます。AVコーナーから、見たいもののケースを持ってカウンターまでどうぞ。中身とヘッドフォンをお貸しします。

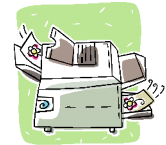


パソコンが使えます

本館には20台、分館には11台のノートパソコンがあり、自由に使えます。もちろんネットも使えます。パソコン室もありますが、たくさんの資料を広げながらレポートを書くには、図書館の広い机が便利です。作成した文書も、館内のプリンタで印刷できます（コピーカードが要ります）。

コピーができます

図書館内のコピー機は、調査・研究を目的とする複写が認められています。が、著作権法というルールが存在しますので、なんでもコピーできるわけではないのです。コピー機の前に貼ってあるポスターをよく見てくださいね。



文献取り寄せができます

「この論文が読みたい」と思った時に、掲載雑誌が図書館に無くてがっかり、ということもありますね。でも安心してください。カウンターで申し込むと、他大学図書館からコピーを取り寄せます。近い大学なら、翌日に、遠い大学でも4~5日以内には届きます。更に！卒業論文に必要な時には、指導教員のサイン・印があれば、料金無用です。（卒論ゼミが決定する、3年生後期からですが）

図書も同様に、所蔵している他の図書館から取り寄せることができます。日本のすべての大学が、あなたの研究を応援してくれます。



リクエストができます

読みたい本が図書館に無い時は、リクエストカードに記入して、リクエストボックスに入れるか、カウンターに持ってきてください。大歓迎です。ただちに購入します。（「蔵書構築方針」というものがありますので、あまりに大学図書館にふさわしくないものは、買えません）購入後には、真っ先に読む権利があります。

試験勉強ができます

国家試験・資格試験などの問題集を各種取り揃えています。最新版で館内専用のもものもありますので、図書館に来て勉強しましょう。

指定図書を見ることが出来ます

そもそも、指定図書とは何かというとシラバスに載っている、授業の教科書・参考書のことです。図書館では、学科ごとにコーナーを作っています。「購入任意」のものは、実物を見てから、決めてもいいですね。同じ本が複数あるものは、1冊だけが禁帯出です。ここだけの話ですが、うっかり教科書を忘れたとき、運がよければ借りられます。

予約ができます

借りたいのに先を越された、という時には、カウンターで予約できます。本が返却された時、優先的にお知らせします。

相談ができます

こんな資料を探しているんだけど…、〇〇についての本はありますか？など、小さなことでも親切丁寧に応じます。聞いたほうが早い、ということはけっこうあるものです。ただし、人生相談・健康相談はほかをあたってください。

文具が借りられます

レポート提出のときなど、よく「ホッチキス貸してください！」などという、やや切羽詰まった学生さんが来ます。都合のつく限り、はさみ・穴あけパンチ・定規などはお貸ししますので、ご遠慮なく。



他の図書館の紹介状を発行します

北海道内の「北海道地区大学図書館相互利用サービス」加盟館（39 大学 47 館）は学生証を提示するだけで利用できますが（貸し出し条件は各館で異なります）、本州の大学では紹介状が必要な場合があります。帰省中に利用したい時などは紹介状を発行しますので、カウンターで申し込んでください。（利用したい大学図書館のホームページを確認しましょう）

♪このほか、多少の居眠り・空想なども自由にできます。ペットボトル等ふたのできる飲料は持ち込めます。



図書館HPでできること

☀図書館では、独自のホームページを開設しています。毎日とは言いませんが、時々は見てくださいね。

開館日を確認できます

基本的に、土日・祝日は閉館ですが、そのほかは、開館しています。ですが、大学ですので、入学試験での休館、逆に定期試験前の土曜日開館など、変則になることもあります。

図書を探せます

「学内 OPAC」から、図書館や研究室の図書を検索できます。検索のしかたは、図書館ガイダンスでひととおり実習しますが、目的のものを探すためには慣れることが大事です。

OPAC ~ Online Public Access Catalog オンライン上の図書目録です

本学の蔵書ではなく、広く出版されているものを探すには「CiNii Books」「Webcat Plus」「NDL-OPAC」「Google books」などのアイコンから。

論文や雑誌記事を探せます

各種データベースにリンクしています。ただし、「学内のみ」と注意書きがあるものは、学内のパソコンからしか使えません。使いこなすと、とても便利ですし、レポート・卒論ともなると使わざるを得ません。トップページのバナーからも、直接利用できます。

新聞記事を探せます

朝日新聞に限りますが、データベースが使えます（聞蔵Ⅱビジュアル）。そのほか、読売新聞は新聞社サイトからほとんどの記事が見られますし、地元の名寄新聞も、記事が読めます。

Facebook が見られます

図書館では Facebook で情報発信をしています。展示のお知らせや、「今週の本」という推薦図書紹介、図書館員のつぶやきなど、ちょいちょい更新しています。「いいね！」大歓迎です。

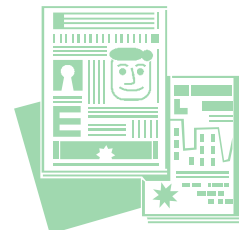


新着図書がわかります

「蔵書検索」の画面にすると、右側に新着図書が表示されます。(雑誌も交じっています)
“すべて表示”をクリックすると、一か月間の新着図書が表示されますので、気になっている図書が入っているかどうかチェックできます。

「図書だより」が見られます

「図書館だより」は学内のところどころに掲示しますが、ホームページからも見ることができます。先生方の巻頭言をはじめ、推薦図書・学生へのインタビュー記事など役立つ情報満載です。



パスファインダーが見られます

「パスファインダー」とは何か。あるテーマについての資料・情報収集のための探し方をまとめたものです。調べ方案内という内容です。



レポートや、興味を持ったことについて独自に学習する際にお役立てください。これからまだまだ種類を増やす予定です。

先生方の論文が読めます

「機関リポジトリ」という言葉を覚えましょう。研究機関の知的生産物を集めたものです。本学では、教員の論文集『名寄市立大学紀要』や道北地域研究所発行の『地域と住民』などを公開しています。各先生の研究を知ることができます。

開催中の展示がわかります

「企画展示・特別展示」のところから、図書館内で展示中の内容がわかります。毎月、本館・分館それぞれに何らかの展示をしていますので、注目してください。

当館の理念と目標がわかります

大学図書館として皆さんの役に立つため、きちんと目標をかげ、日々努力しています。

新図書館は2017年4月オープン。
お楽しみに！



名寄市マスコットキャラクター「なよろう」